

八代地域の特産果樹における 原油高騰等に関する要望書

私たち果樹生産者は、中山間地の基幹作物として、高品質果実栽培に取り組み、消費者の求める安全安心な果実の生産・出荷に努めてきた。

しかし、依然として卸売市場の販売価格は変動が大きく、加えて近年の温暖化の進展により、気象災害の発生が頻発し、収穫量・品質はともに悪化し、果樹経営は極めて不安定な状況にある。

このような中で、これまで省エネ対策として循環扇や内張カーテン等の資材を導入し原油の削減に努めてきたが、急激な燃料・肥料等資材の高騰は生産コストの増大や、さらに、運送費・出荷資材等の流通コストの増大と重なり、生産者の収益を著しく圧迫している。

果物の価格は、生産流通コストの経費増分を価格に転嫁することが難しいという状況から、今、生産者は果樹経営の将来に大きな不安を抱えている。

今後、農業経営の継続をしていくためには、この窮地を各方面に強く訴えていく必要がある。

つきましては、この現状をご理解していただき、果樹産地の存続のため下記事項について要望いたします。

記

1. 果樹の再生産ができる為の所得保障制度の確立。。
2. 加温施設栽培における安定生産のための、施設及び資材設置に係る補助事業の拡充。
3. 高騰する生産資材及び燃料等に対する直接補助の実施。

平成20年8月10日

JAやつしろ 果樹部代表